

久保田市長の第49回 全力投球



未来へつなぐA-Iオンデマンド交通

「バスの本数が少ない」「家の近くにバス停がない」「運転手不足で運行が難しい」など、さまざまな声をいただいています。全国的な課題ですが掛川市でも移動に関する悩みは尽きません。

「乗りたいときに」「行きたい所へ」

そこで、今年から新しい公共交通サービス「A-Iオンデマンド交通」を始めます。これは、アプリや電話で予約するとA-Iが最適なルートを計算し、みなさんの家や目的地により近い場所まで迎えに来てくれるシステムです。時刻表に縛られず、まるでタクシーのように利用でき、他のお客さんと相乗りすることも可能です。

10月から桜木地区にて実験します

まずは今年の10月から翌年1月まで、桜木地区でこの実験を実施します。この期間中、これまで桜木地区を走っていた自主運行バス

は、この新サービスに切り替わりますのでご注意ください。桜木地区以外の方も利用でき、現在、無料キャンペーンも計画中です。ぜひ一度体験してみてください。

持続可能な未来へ

私たちが目指す「持続可能なまちづくり」は、利用者が少ないからといって、すぐに廃止するような考えではありません。ただ諦めるのではなく、テクノロジーと私たちの知恵を使って、これまでのものを新しい形へ作り変えていくことだと考えています。

誰もが通院や通学、買い物など、移動に関して不安を感じることなく生活できるようになること。そして、安心して運転免許を返納できるようなこと。そんな未来を掛川市で実現するために、これからも挑戦を続けていきます。A-Iオンデマンド交通が、みなさんの生活をより豊かにする一歩となることを願っています。

地域おこし 協力隊通信

Vol.25

（問）くらしデザイン課

（☎）21-1209



キタムラジュン

横須賀城築城450年記念に向けて

令和10年に築城450年を迎える横須賀城の記念事業実行委員会が設立されました。

南部エリアの振興策に取り組む地域主導の計画です。今後、協力隊としても一緒に盛り上げていきます。

中山間地域振興計画ワークショップ

普段は掛川市南部エリアを中心に活動を行っていますが、中山間エリアの今後を考えるワークショップに参加させていただきました。市の34・5%を占める中山間エリア。その魅力と課題に触れることができ、学びの多い時間になりました。

田んぼの生き物調査

「とうもろの里」で毎年行われている田んぼの生き物調査。今年は市内外から100人近い児童の参加がありました。地域の食材を使った子ども食堂も同日開催され、

とてもにぎわいました。

JMC CREATIVE COMPETITION 2025

日本の伝統文化を再構築し世界に届けるコンペティションで、遠州横須賀風×地域おこしの企画案が評価され、カルチャー部門賞を受賞しました。

立命館大学ゼミ合宿で講義を担当

掛川市のまちづくりをテーマに、立命館大学政策科学部の学生向けに登壇の機会をいただきました。学生たちは合宿期間中に、市内の農園や病院を巡り地域の営みから多くの学びを得たようです。



▲横須賀城築城450周年記念事業設立総会の様子

※地域おこし協力隊は、総務省が推進する地域活性化の一環で、地域資源の発掘と持続可能な発展を目指す取り組みです。